

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	(1)理念の共有と実践 現在第6波の新型コロナウイルス感染症拡大は第7波も予測されている。大規模災害も予測されている。感染予防策と災害発生時対応策を兼ね備えた上での介護サービスの継続が必要となっている。	介護サービス質を維持しながら業務継続する ①感染防止策の継続 ・感染源排除 ・感染経路遮断 ・免疫力向上 ②正確な情報収集と共有 ③業務継続(介護サービスの継続、利用者の安全確保) ④職員確保 ⑤備蓄(利用者情報シート、備蓄一覧表)	感染防止対策マニュアル、災害時対応マニュアルの実践と見直し更新 ①～③特に徹する事 ①感染源排除:感染源を素手でさわらない ②感染経路遮断: * 感染源を持ち込まない(手洗い、手指消毒、職員の就業前健康確認とマスク更新、環境消毒等) * 感染源を持ち出さない(ゾーニング、防護用具使用等) * 感染源を拡げない(汚染物の処理) ③免疫力向上(栄養、睡眠、ワクチン接種等)	12ヶ月
2		(2)事業所と地域とのつきあい (8)馴染みの人や場との関係継続の支援 (13)災害対策 (18)日常的な外出支援 慣れ親しんだ場所や地域行事、人々の力は職員では補えない大きさだと痛感する。また、災害時にあっては地域のお世話になる関係にある。コロナ禍の合間を縫っての支援が必要となっている	感染防止策を継続しながら地域力を利用者の生きがいに繋げる。 ①ご近所散歩、ガーデンでの憩い ②ドライブ ③家族や友人 ④年間行事 ⑤地域の行事への参加	①お好みの散歩コース(田畑の作物や花、山、鳥、牛等を案内する) ②窓を開けて手指消毒、マスク着用、飲食はしない(利用者の行きたい場所、花見) ③ライン活用、郵便、買い物支援(パンの移動販売)継続 ④状況を判断しながら即実践できる環境づくり ⑤中止の際は模擬行事を施設で行う	12ヶ月
3		(19)居心地のよい共有空間づくり コロナ禍が長引き、室内で過ごされることが多くなっている。ケアや支援を拒否される方々に「快」を感じて頂く環境づくりが必要となっている	施設の古さを活かしてみる。 ①高級感 ②古民家風 ③安全、清潔	利用者の場所は変えない ①相談室、玄関、フロアの家具と絵画 ②銘仙や紗、絹で暖簾等を作る ③目的通りに空間を整理整頓する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。